

# 各部会報告資料

- ・こども部会 (P2-4)
- ・就労部会 (P5-7)
- ・相談支援部会 (P8-9)
- ・精神障がい者地域移行支援部会 (P10-12)

## こども部会活動報告（令和5年度第3回）

### 1 部会の目的

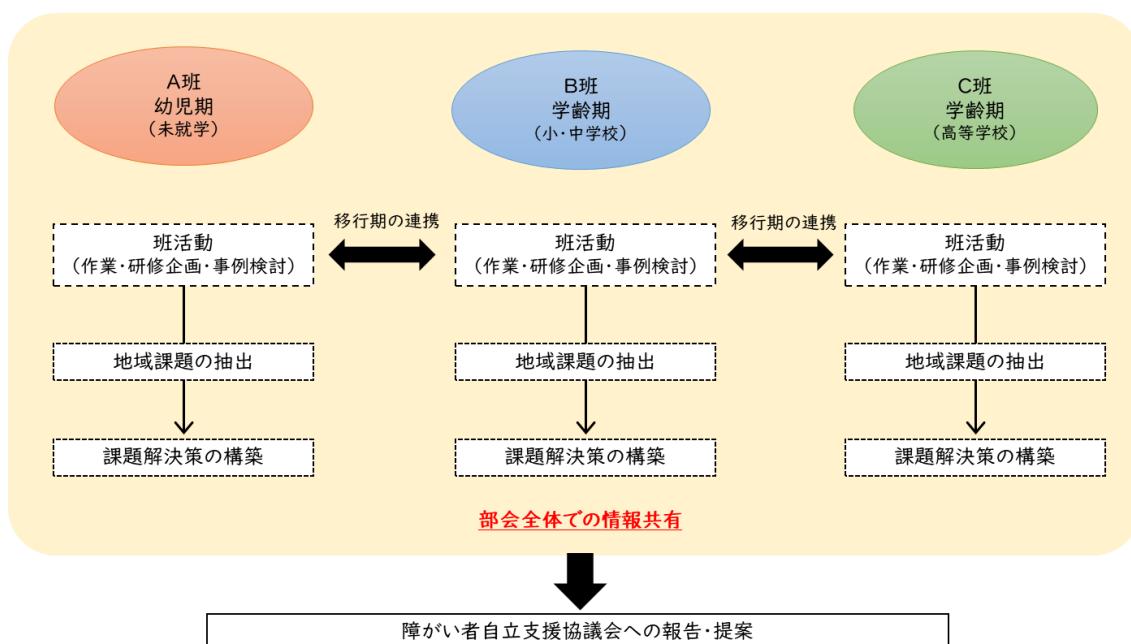
障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

### 2 令和5年度の運営体制

ライフステージに応じた班体制を引き続き維持する。

また、毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



### 3 令和5年度の実績（令和5年12月末時点）

#### （1）取組内容

##### ① A班（未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：相談の場、福祉サービスにつながるまでの空白の時間の課題整理と対応

（令和5年度取組予定）

- ①各所の役割の共有と整理
- ②児童発達支援に関連する用語の整理
- ③保護者の相談の場の検討

（令和5年度取組実績）

- ・初めて福祉サービスを利用する保護者を対象とし、児童発達支援に関連する用語（キーワード）を用いて資料を作成中。
- ・今後は、各区役所の保健こども課で使用されている案内と照らし合わせ、上記資料が活用できるかを再度精査している。
- ・設置場所も併せて検討するもの。

##### ② B班（小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：アンケート結果をふまえ、課題抽出と啓発を行う

余暇支援マップの見直しやリーフレット配布を通して情報発信を行う

（令和5年度取組予定）

- ①アンケート結果をまとめ、自立支援協議会本会議を報告
- ②余暇支援マップの見直し

（令和5年度取組実績）

- ・余暇支援マップの書式の決定。
  - ・余暇支援マップ作成に係る調査の準備および実施。
  - ・完成した余暇支援マップの活用について検討。
- （本市HPへの掲載を検討中）

③ C班（高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む）

テーマ：アンケートを通して見えてくる現状からの在学中、卒業後の生活支援と課題について

（令和5年度取組予定）

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①学校アンケートの継続と啓発活動について</li><li>②移行支援シートの見直しと活用について</li><li>③特別支援学校卒業後の実態調査について</li></ul> |
|--|

（令和5年度取組実績）

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・熊本市に在する高校に対するアンケート調査の集計を行った。<br/>※回答データは現在精査中。年度内に高等学校へ情報提供することを目指している。</li><li>・高等学校における障がい理解に係る周知啓発を進めるため、サポーター研修等を知ってもらう機会の創出を検討中。</li></ul> |
|--|

（2）振り返り

こども部会ではそれぞれの班が課題意識を持って活動を進めることができた。市民ニーズを拾い上げ、課題を検討することが定着したため、今後も地域に根差した障がい児療育の質の向上を目指して協議を進めていく。

一方、今年度より始まった障がい児福祉ネットワーク会議（熊本市児童発達支援センター機能強化事業取扱、こども部会の下部組織の位置づけ）との連携や情報共有が安定していないという課題がある。来年度は、障がい児福祉ネットワーク会議で把握した地域ニーズをこども部会へ効果的に反映させるため、班体制の刷新を予定しているところである。

## 就労部会活動報告（令和5年度第3回）

### 1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

### 2 令和5年度の取組

#### (1) 運営体制

4つの班構成（企業就労班、福祉就労班、当事者対話班、くまもとDX班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

#### (2) 運営委員会開催状況

原則、毎月第2木曜日にオンライン（Zoom）開催しており、5つの班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

#### (3) 部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

|          | 内容   | 参加人数 |
|----------|--|------|
| 4月6日(木)  | 1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について<br>2 班活動（年間計画の作成、就労フェア準備） | 67名  |
| 5月11日(木) | 1 ミニ研修<br>「障がい者就労マッチングサイトがめざすもの…」<br>2 班活動         | 57名  |
| 6月1日(木)  | 1 市報告<br>「障がい者への就労支援の先進事例」<br>班活動                  | 59人  |
| 7月6日(木)  | 1 ミニ研修<br>「障がいのある人の働くのこれから」<br>2 班活動               | 56名  |
| 8月3日(木)  | 1 ミニ研修<br>「熊本県地域生活定着支援センターの事業内容について」<br>2 班活動      | 54名  |
| 9月7日(木)  | 1 ミニ研修<br>「スタッフサービス・クラウドワークの取組について」<br>2 班活動       | 59名  |

|          |  |     |
|----------|--|-----|
| 10月5日(木) | 1 ミニ研修<br>「マクドナルドにおける障がい者雇用の取り組みについて」<br>2 班活動 | 56名 |
| 11月9日(木) | 1 ミニ研修 なし<br>2 班活動                             | 42名 |
| 12月7日(木) | 1 ミニ研修<br>「理想のワーク・ライフバランスについて」<br>2 班活動        | 48名 |

#### (4) 各班の取組

##### ①企業就労班

###### <企業就労グループ>

- (目標)・障がい者の一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動  
・サポート企業・団体の啓発

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ・企業への雇用受入れの周知・啓発 | ・「しごといく」の作成 |
| ・サポート企業の啓発       |             |

###### <定着支援グループ>

- (目標) 地域で安心して末永く働き続ける為の情報の収集と発信

- |                         |
|-------------------------|
| ・一般就労後の定着に関する検討(企業との連携) |
|-------------------------|

##### ②福祉就労班

###### <事業所支援グループ>

- (目標)・利用者支援についての質の向上を図る  
・就労支援事業を取り巻く様々な問題について、意識や学びを深める

- |                             |
|-----------------------------|
| ・事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理 |
|-----------------------------|

###### <工賃向上グループ(もちっとはいよ班)>

- (目標) 工賃向上をベースとしてA型、B型、新規開設事業所、老舗事業所、GH等それぞれの目線から障害福祉サービス事業所の課題を整理共有し、解決策を検討する。その課題と解決策(案)を熊本市に提言し、行政機関と共により良い熊本市の障害福祉サービス事業所づくりに取り組む

- |                          |
|--------------------------|
| ・事業所における事業収入を増やしていくための検討 |
|--------------------------|

##### ③当事者対話班

- (目標)・「当事者」と「企業」の思いの違いを知る(働き方、働き続ける為に必要なこと)

- ・「家族」と「働く」の関係性を知る

- |                            |
|----------------------------|
| ・当事者の視点から就労に関する悩みや提案を検討する。 |
|----------------------------|

#### ④くまもと DX 班

(目標) 在宅就労や DX などの新たな働き方への見識を深め、実態を把握する。

- ・在宅就労やデータ作業等が推進されている社会状況を踏まえ、障がい者雇用の可能性を広げていくために、新しい働き方を検討する。

### 3 その他

例年実施している「就労フェア」を令和6年2月16日に開催予定。企業が参加しやすいように、オンラインでの開催。

<概要> ※予定

日 時：令和6年2月16日（金）15時～17時

開催方法：オンライン（ZOOM）

テ ー マ：「この街でともに働く」

内 容：①外部講師（「しごといく」取材企業）による研修  
②各班の成果発表 等

## 相談支援部会活動報告（令和5年度第3回）

### 1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

### 2 令和5年度の取組

#### (1) 運営体制

運営委員会のメンバーを3つの班（スキルアップ班、地域課題班、社会資源班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

#### (2) 取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行。

##### ① スキルアップ班

- ・計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

##### ② 地域課題班

- ・個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・個別のニーズや課題から地域課題の抽出

##### ③ 社会資源班

- ・地域の社会資源を収集、整理
- ・社会資源の情報の共有

#### 【部会の実施内容】

|       | 部会内容等   | 場所           |
|-------|---|--------------|
| 5月18日 | ① インフォメーション<br>② 発達障がい者支援センターみなわの活動報告と連携事例<br>③ 令和5年度の相談支援部会の活動について<br>④ 班活動・全体共有 | 東部公民館<br>ホール |
| 6月20日 | ① インフォメーション<br>② 障害者虐待防止法について<br>③ 班活動・全体共有                                       | 西部公民館<br>ホール |



|        |  |              |
|--------|--|--------------|
| 7月18日  | ① インフォメーション<br>② 班活動・全体共有  | 青年会館<br>ホール  |
| 8月15日  | ① インフォメーション<br>② 全体研修（担当：社会資源班）<br>・熊本保護観察所<br>・熊本県地域生活定着支援センター                            | 東部公民館<br>ホール |
| 9月19日  | ① インフォメーション<br>② 班活動・全体共有  | 青年会館<br>ホール  |
| 10月17日 | ① インフォメーション<br>② 班活動・全体共有  | 南部公民館<br>ホール |
| 11月21日 | ① 全体研修（担当：地域課題班）<br>・ささえりあの取組について<br>・65歳切り替えの手続きについて<br>・実践事例の報告<br>② 障害福祉サービス待機時間の縮減について | 東部公民館<br>ホール |
| 12月19日 | ① インフォメーション<br>② 移動支援について<br>③ 班活動・全体共有  | 託麻公民館<br>ホール |

※部会：毎月第3火曜日15時～17時

※運営会議：毎月部会前13時半～14時半

### (3) 今後の予定

1月 班活動

2月 研修会（担当：スキルアップ班）

3月 班活動、年度振り返り

## 精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和5年度第3回）

### 1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

### 2 令和5年度の実施状況

#### ① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～6回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

#### ② 取組内容

##### 1、全体部会

熊本市内精神科病院、基幹相談支援センター、一般相談支援事業所、ピアサポーターが参加し、全体部会を通しての普及啓発と地域移行支援についての意見交換を行っている。

6月14日 第1回全体部会開催（出席78名、ZOOM開催）

内容・事業説明、年間計画  
・地域移行支援基礎研修  
・各区部会の報告  
・グループでの意見交換

9月13日 第2回全体部会開催（出席66名、ZOOM開催）

内容・各区部会の報告  
・精神障がい者地域移行支援アンケートの結果共有  
・ピアサポーター活動概要（事前収録済み録画の放映）  
・グループでの意見交換、感想共有

12月11日 第3回全体部会開催（出席69名、ZOOM開催）

内容・各区部会の報告  
・さっぽろ香雪病院での地域移行支援の活用について体験談  
・グループでの意見交換

## 2、区部会

今年度は地域移行支援の普及啓発の一環として個別給付件数の増加を目標とし、各病院より1事例ずつ挙げていただけるよう働きかけを行っている。区部会内では進捗状況や、地域移行支援の事例となる可能性のあるケースについての情報共有を行っている。

区部会開催状況は別紙資料1参照

## 3、コアメンバー会議

毎月コアメンバーが集まり、全体部会の企画運営、計画や方針の決定、区部会運営状況の把握と取組への助言を行っている。

参加者は部会長、副部会長、地域体制整備アドバイザー、こころの健康センター

## 3 今後の取組予定

### 1、全体部会

第4回目を2月に予定。

今後も地域移行の普及啓発に向け、働きかけを行っていく。

### 2、区部会

各区年3～6回の開催を予定。

既に2～3回が終了しているが、今年度の目標である個別給付件数増加については今後も区部会内で情報共有を継続しつつ、普及啓発を進めていく。また、11月は中央区部会をモデルとして広域アドバイザーの協力を得て、地域移行に向けた地域診断を実施。中央区以外の各区部会でも地域診断を実施していく予定。

### 3、コアメンバー会議

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。

令和5年度 地域移行支援事業区部会報告

資料1

◆区部会開催状況、個別給付状況

|    | 開催状況                             | 参加者  | 個別給付件数等 |  |
|----|----------------------------------|--|---------|--|
| 中央 | 3回 (5/30、8/22、11/13)             | 医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、区役所(福祉課、保健こども課)、こころの健康センター、尾形氏(広域アドバイザー)、AD、各区旗振り役 | 支援中：1件  | 10月に1回目の更新済み。<br>ご本人との面談並びに入所施設等への見学等で動きが<br>あっている。  |
| 東  | 2回 (7/12、12/10)                  | 医療機関(4)、相談支援(基幹2、一般2)、区役所(福祉課、保健こども課)、AD、こころの健康センター                      | 支援中：1   | ・30代女性、精神科病院からの退院希望あり、地域移行に向けて支援中。<br>・9月上旬で初回面談を行い、外出にて自宅同行訪問も行った。導入に向けて調整中。                            |
| 西  | 3回(4/17、5/29、6/13)<br>※6/13研修会開催 | 医療機関(2)、相談支援(基幹1、一般1)、区役所(福祉課、保健こども課)                                    | 0       |  |
| 南  | 3回 (5/24、8/29、11/27)             | 医療機関(3)、相談支援(基幹2)、区役所(福祉課、保健こども課)、AD、こころの健康センター                          | 支援中：1   | ・60代男性、統合失調症・知的障害。10年ほど身体疾患を理由に入退院を繰り返しているケース。2か所グループホームへの見学を実施。うち1か所、1月中旬に、体験宿泊予定。                      |
| 北  | 2回 (6/28、12/19)                  | 医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、区役所(福祉課、保健こども課)、AD、こころの健康センター                      | 支援中：1   | ・60代男性、統合失調症。約1年前の入院時に住居を退居。グループホームや就労支援の見学を行ったが、介護保険の対象年齢となり、現在介護保険を申請中。結果次第で再検討の可能性もあるが、3月中の退院を目指している。 |